

シレットコスミレの定期的な生育・分布状況調査

資料名	知床世界自然遺産地域生態系モニタリング調査業務報告書
調査主体	環境省
評価項目	3. 遺産登録時の生物多様性が維持されていること 6. エゾシカの高密度状態によって発生する遺産地域の生態系への過度な影響が発生していないこと
管理目標	遺産登録時（現状並み）時点の生態系の状態を維持
モニタリング項目	特定重要地域を指標とした生態系の現状に関する総合的把握
評価指標	分布域と密度
評価基準	遺産登録時の生育・分布状況の維持

< 平成 20 年度までの具体的調査手法 >

- 硫黄山に 3 箇所、遠音別岳に 1 箇所のモニタリングサイトを設置し、個体の位置と葉枚数、花の有無を記録
 - ・ 硫黄山

分布の中心である（地点名非公開：a 地点）

温暖化によるハイマツ低木林やヒースとの競合をモニタリングするために（地点名非公開：b 地点）のハイマツ低木林と接した平坦地

登山者の踏圧の影響をモニタリングするため、登山者がよく利用する（地点名非公開：c 地点）沿い

- ・ 遠音別岳

吉村・新庄（1985）のプロットの復元

- 硫黄山・遠音別岳を踏査し、成熟個体数のカウントおよびエゾシカ被食・踏圧を調査

< 平成 20 年度までの具体的調査データ例 >

表 知床半島におけるシレットコスミレの個体数
（平成 19 年度 知床世界自然遺産地域生態系
モニタリング調査業務報告書より）

	遠音別岳	硫黄山
成熟個体数	900	36,611

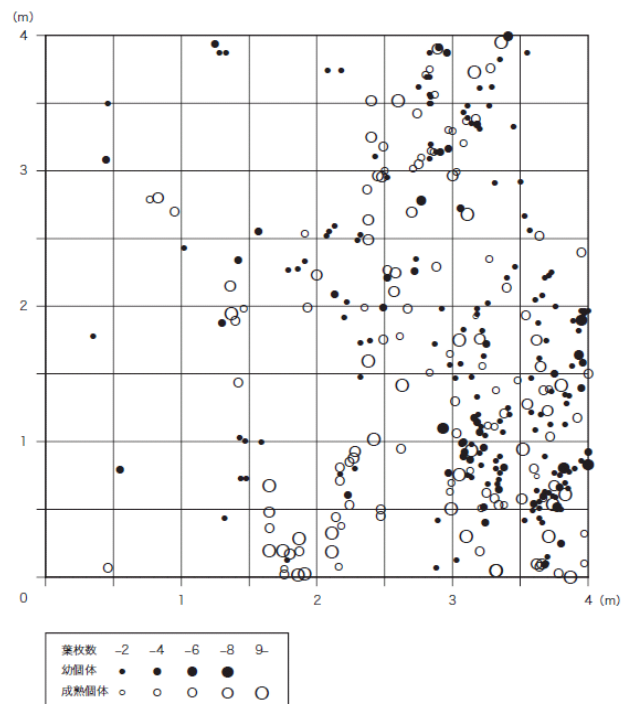


図 遠音別岳に設置されたモニタリングサイトにおけるシレットコスミレの平面分布状況
（平成 18 年度 知床世界自然遺産地域生態系モニタリング調査業務報告書より抜粋）

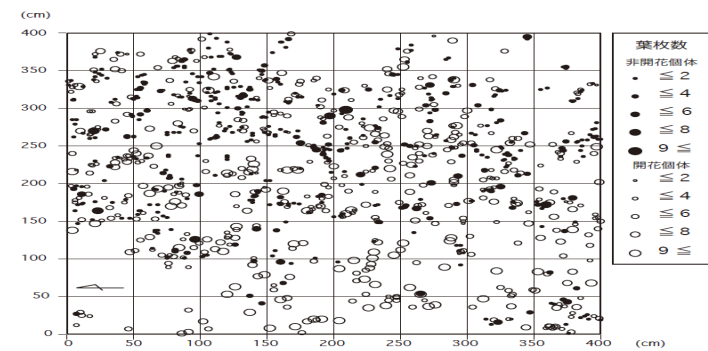


図 1. 東岳モニタリングサイトにおけるシレットコスミレの平面分布。

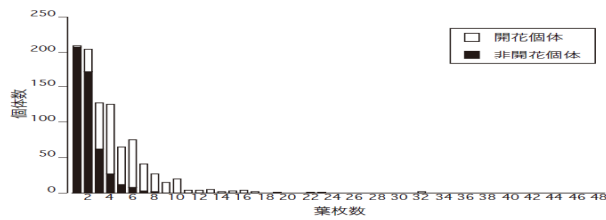


図 2. 東岳モニタリングサイトにおけるシレットコスミレの葉枚数分布。

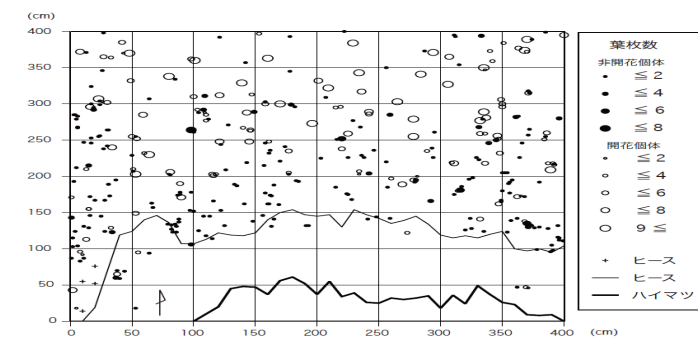


図 3. 知内別モニタリングサイトにおけるシレットコスミレの平面分布。

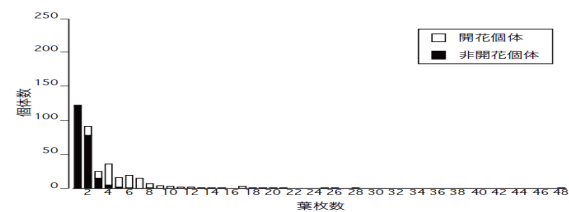


図 4. 知内別モニタリングサイトにおけるシレットコスミレの葉枚数分布。

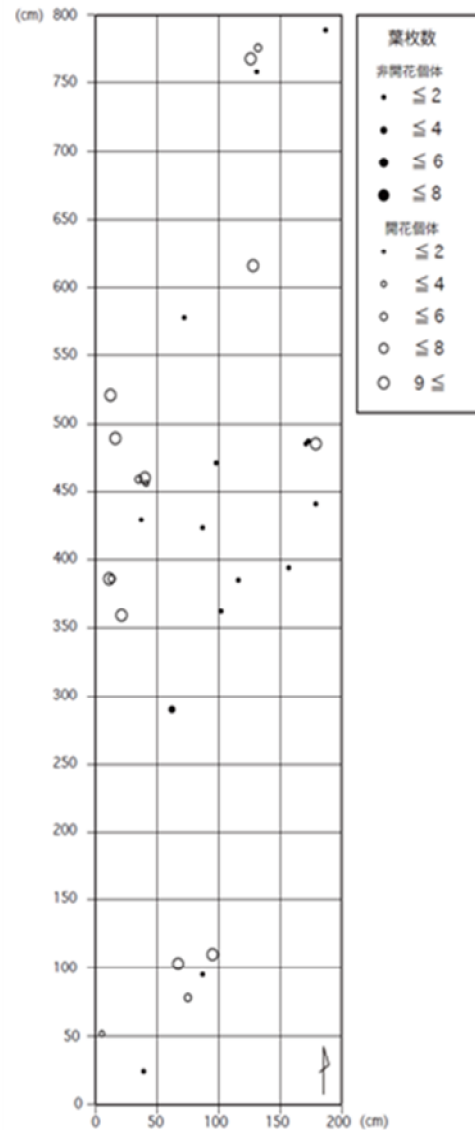


図 硫黄山に設置されたモニタリングサイトにおけるシレットコスミレの平面分布状況

(a 地点 (左上図), b 地点 (左下図), c 地点 (右図))

(平成 20 年度 知床世界自然遺産地域生態系モニタリング調査業務報告書より抜粋)

<コメント>

- ・2008 年度に合計 11 株でエゾシカの食痕が初めて確認された。
- ・知床半島全域でシレットコスミレの有効個体数は 37,511 個体あるものの、生育地面積は 10 k m²とごく限られるため、選択的な被食が始まれば、ごく短期間で個体群が絶滅するおそれがある。

<評価>

2008 年度までの調査はモニタリングサイトの設置を行ったものであり、具体的な評価は困難。